

Energy-Next

ニュースレター

総長・副総長ー リーディング生懇談会

2015年6月26日(金)、鎌田薫総長、橋本周司副総長とリーディング生30名余との懇談会を開催しました。参加した学生からは次のような感想が届きました。

先進理工学専攻3年 露木康博 鎌田総長、橋本副総長との懇談会は、私にとって非常に胸が高鳴ったと同時に緊張した会となりました。滅多にお話しを伺うことができないお二方のお話は、その一言一言が身に染

みましました。懇談の際には私は総長へ、総長のカンボジアでの法制度整備のご経験を基に、「新しいことを始める際に自分を後押ししてくれる力とは何か」とお聞きしました。総長は私にそのときの背景を含め、私たちが意識すべきこととして二つのお話しをしてくださいました。一つ目は、自身の土台をしっかりと創ること。二つ目は、今何が必要があるかを見定める力を養うことです。この二つの力を養う場として、リーディングプログラムは

とても恵まれた環境だと改めて実感しました。このプログラムを通し、幅広い知識を吸収し、本懇談会で伺ったお二方が想う目指すべき学生の姿を体現したいと考えています。

先進理工学専攻2年 バーキン暉 「様々なバックグラウンドを持つ学生が集まる本プログラムは大学の中にある小さな大学であり、良い経験となっている」とお伝えしたところ、副総長から「自分の能力を卑下せず、『日頃指導していただいている教授より広い視野・考えを持っているんだ』と思って過ごすこと」とアドバイス頂きました。私が知らずに設定している限界に気づき、周りの誰をも超えるくらいの気持ちで日頃学生生活を過ごすべきなのだ改めて考えさせられました。また「グローバル化で海外留学生が早稲田大学のキャンパスに増えているが、もっと増やしたい」とのお話の中で、専門分野だけでなく文化も異なる、多様な学生交流を促進したいという副総長の思いが伝わりました。私は海外留学を今後控えており、そこでの異文化交流に着眼していましたが、キャンパス内での異文化交流にも積極的にチャレンジしたいと思います。



▲総長・副総長とリーディング生達との懇談の様子